

□定期予防接種一覧

対象疾病（ワクチン）		予防接種法による対象年齢	通知の対象年齢
結 核	B C G	1 歳に至るまで	生後 2 か月に達した者 (生後 1 か月の月末に通知)
ジフテリア (D) 百日せき (P) 破傷風 (T) 急性灰白髄炎 (ポリオ/P) H i b 感染症 (Hib)	不活化ポリオ[1 期初回]	生後 2 か月以上 7 歳半に至るまで	—
	不活化ポリオ[1 期追加]		
	D P T [1 期初回]	生後 2 か月以上 7 歳半に至るまで	—
	D P T [1 期追加]		
	DPT - IPV[1 期初回]	生後 2 か月以上 7 歳半に至るまで	生後 2 か月に達した者 (生後 1 か月の月末に通知)
	DPT - IPV[1 期追加]		
	DPT - IPV - Hib [1 期初回]	生後 2 か月以上 7 歳半に至るまで	生後 2 か月に達した者 (生後 1 か月の月末に通知) ※令和6年度から開始
	DPT - IPV - Hib [1 期追加]		
麻しん 風しん	D T [第 2 期]	11 歳以上 13 歳未満	11 歳の誕生月翌月に通知
	麻しん・風しん混合 MR[1 期]	1 歳以上 2 歳に至るまで	生後 11 か月に達した者 (1 歳の誕生月の前月末に通知)
	麻しん・風しん混合 MR[2 期]	5 歳以上 7 歳未満で、 小学校就学前の 1 年間 (就学前年度 4/1～3/31)	小学校就学の 1 年前に通知
日本脳炎	風しん [5 期] 令和 8 年度末までの 時限措置	昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日に生まれた男性	令和 5 年 7 月に対象者へ通知
	1 期初回	生後 6 か月以上 7 歳半に至るまで	3 歳に達した者 (3 歳児健診通知に同封)
	1 期追加		
H i b 感染症	2 期	9 歳以上 13 歳未満	9 歳の誕生月翌月に通知
	1 期初回	生後 2 か月以上 5 歳に至るまで	生後 2 か月に達した者 (生後 1 か月の月末に通知) ※令和 6 年度以降は DPT - IPV - Hib として接種
	1 期追加		
肺炎球菌感染症 (小児)	1 期初回	生後 2 か月以上 5 歳に至るまで	生後 2 か月に達した者 (生後 1 か月の月末に通知)
	1 期追加		
水痘 (みずぼうそう)	—	1 歳以上 3 歳に至るまで	生後 11 か月に達した者 (1 歳の誕生月の前月末に通知)
B 型肝炎	—	1 歳に至るまで	生後 2 か月に達した者 (生後 1 か月の月末に通知)
ロタウイルス ワクチン	1 価	生後 24 週 0 日まで	生後 2 か月に達した者 (生後 1 か月の月末に通知)
	5 価	生後 32 週 0 日まで	
ヒトパピローマウイルス 感染症	※平成 9～19 年度生まれは令和 4～6 年度まで キャッチアップ対象	12 歳となる日の属する年度の 初日から 16 歳となる日の 属する年度の末日までの間に ある女子	中学 1 年生の女子 ※積極的勧奨が再開した令和 4 年 度に、中学 1 年生から高校 1 年 生、キャッチアップ対象者へ通知
肺炎球菌感染症 (高齢者)	—	満 65 年齢 60～64 歳の特定疾患のある者	65 歳に達した者 60～64 歳の特定疾患のある者 (誕生月の月末に通知)
帯状疱疹	—	満 65 年齢 60～64 歳の特定疾患のある者	65 歳に達した者 60～64 歳の特定疾患のある者 及び経過措置対象者 (70 歳以上 5 歳毎の年齢の方と 101 歳以上の方) (該当年度の前月末に通知)

高齢者 インフルエンザ	※接種期間 10月1日から1月31日	65歳以上 (特定疾病者は60歳以上)	12月末現在で65歳に達する者、 60～64歳の特定疾患のある者
新型コロナウイルス 感染症	※接種期間 10月1日から3月31日	65歳以上 (特定疾病者は60歳以上)	3月末現在で65歳に達する者、 60～64歳の特定疾患のある者

(1) BCG、DT、ポリオ（IPV）、DPT-IPV、DPT-IPV-Hib

□実績

(単位：人)

年度 区分		BCG	二種 混合 (DT)	不活化ポリオ (IPV)		四種混合 (DPT - IPV)		五種混合 (DPT - IPV - Hib)	
				1期 初回	1期 追加	1期 初回	1期 追加	1期 初回	1期 追加
3	対象者(延)	2,024	1,629			6,072	2,024		
	実施者(計)	1,854	1,111	0	6	5,693	1,771		
	接種率(%)	91.6	68.2			93.8	87.5		
4	対象者(延)	1,914	1,658			5,742	1,914		
	実施者(計)	1,856	1,064	1	5	5,628	1,679		
	接種率(%)	97.0	64.2			98.0	87.7		
5	対象者(延)	1,810	1,657			5,430	1,810		
	実施者(計)	1,753	1,042	0	5	5,860	1,760		
	接種率(%)	96.9	62.9			107.9	97.2		
6	対象者(延)	1,799	1,774					5,397	1,799
	実施者(計)	1,691	1,234	0	0	557	1,668	4,645	244
	接種率(%)	94.0	69.6					86.1	13.6
7	対象者(延)	1,826	1,785					5,478	1,826
	実施者(計)	1,704	1,141	0	19	4	285	5,320	1,498
	接種率(%)	93.3	63.9					97.1	82.0

(注1) BCGは平成26年度から区内医療機関での個別接種とした。

(注2) 四種混合ワクチン(DPT-IPV)は平成24年11月1日から開始。

(注3) 四種混合ワクチン(DPT-IPV)の接種開始時期は令和5年度から生後3か月から2か月へと変更。

(注4) 三種混合ワクチン(DPT)は定期接種対象だが、実績がないため未掲載。

(注5) 五種混合ワクチン(DPT-IPV-Hib)は令和6年4月1日から開始。

(注6) 令和6年度から五種混合ワクチンが定期接種化されたことに伴い、四種混合ワクチンの製造が令和7年度で終了

(2) 日本脳炎、高齢者インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症

□実績

(単位：人)

区分 年度		日本脳炎						インフル エンザ (高齢者)	新型 コロナ ウイルス 感染症 (高齢者)
		1 期初回 (7 歳 6 か月に至 るまで)	1 期追加 (7 歳 6 か月に至 るまで)	1 期初回 (7 歳 6 か月～20 歳未満)	1 期追加 (7 歳 6 か月～20 歳未満)	2 期 (9 歳 ～13 歳 未満)	2 期 (13 歳～ 20 歳未 満)		
3	対象者 (延)	2,664	1,332			1,673		58,039	
	実施者 (計)	3,080	872	117	82	560	146	30,819	
	接種率 (%)	115.6	65.5			33.5		53.1	
4	対象者 (延)	3,558	1,779			1,755		57,992	
	実施者 (計)	3,402	1,857	56	72	1,600	227	36,144	
	接種率 (%)	95.6	104.4			91.2		62.3	
5	対象者 (延)	3,466	1,733			1,784		57,637	
	実施者 (計)	3,149	1,527	48	37	1,474	161	30,691	
	接種率 (%)	90.9	88.1			82.6		53.2	
6	対象者 (延)	3,478	1,739			1,813		57,523	58,371
	実施者 (計)	3,300	1,457	40	18	1,554	82	27,713	15,385
	接種率 (%)	94.9	83.8			85.7		48.2	26.4
7	対象者 (延)	2,976	1,488			1,792		57,175	57,951
	実施者 (計)	3,083	1,414	19	15	1,309	42	27,661	12,562
	接種率 (%)	103.6	95.0			73.0		48.4	21.7

(注1) 日本脳炎については、平成21年に新ワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が承認され、平成22年4月1日から3歳に対して、第1期の積極的勧奨が再開された。平成22年8月27日からは第2期でも新ワクチンの接種が可能となり、同時に第2期の対象年齢で第1期接種完了していない方について、第1期の接種が可能となった。

平成23年5月20日からは、積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逸した者(平成7年6月1日生まれから平成19年4月1日生まれまでの者)のうち7歳6か月以上9歳未満及び13歳以上20歳未満の者についても、定期の予防接種の対象となった。

平成25年4月1日からは、平成7年4月2日生まれから平成7年5月31日生まれまでの者が、積極的勧奨の差し控えによる予防接種の機会を逸した者として追加された。

(注2) 平成28年4月1日から、平成19年4月2日生まれから平成21年10月1日生まれの者は、9歳から13歳未満の間に日本脳炎1期の不足分を定期予防接種として接種できるようになった。

(注3) 令和6年度から、新型コロナワクチンが定期予防接種として開始した。

(3) 麻しん風しん (MR)

□実績

(単位：人)

年度 \ 区分		麻しん風しん混合 (MR)			(再掲) 未接種者個別勧奨		
		対象者 (延)	実施者 (計)	接種率 (%)	勧奨者 (A)	勧奨後 接種者 (B)	接種率 (%)
3	1 期	1,842	1,714	93.1			
	2 期	1,780	1,664	93.5	487	267	54.8
4	1 期	1,872	1,790	95.6			
	2 期	1,816	1,592	87.7	583	286	49.0
5	1 期	1,793	1,718	95.8			
	2 期	1,821	1,627	89.3	609	283	46.4
6	1 期	1,715	1,559	90.9			
	2 期	1,821	1,594	87.5	637	348	54.6
7	1 期	1,722	1,601	93.0			
	2 期	1,623	1,544	95.1	536	340	63.4

(注) 麻しん・風しん混合ワクチン 2 期未接種者 (12 月までの未接種者及び 23 区相互乗り入れによる接種者含む) に対する個別勧奨を 1 月に実施している。

(4) Hib

□実績

(単位：人)

年度 \ 区分	接種時期	対象者数	実施者数 (計)	接種率 (%)
3	第 1 回目	2,024	1,957	96.7
	第 2 回目	2,024	1,912	94.5
	第 3 回目	2,024	1,874	92.6
	追加	2,024	1,734	85.7
4	第 1 回目	1,914	1,891	98.8
	第 2 回目	1,914	1,899	99.2
	第 3 回目	1,914	1,872	97.8
	追加	1,914	1,829	95.6
5	第 1 回目	1,810	1,792	99.0
	第 2 回目	1,810	1,788	98.8
	第 3 回目	1,810	1,796	99.2
	追加	1,810	1,728	95.5
6	第 1 回目		30	
	第 2 回目		177	
	第 3 回目		331	
	追加		1,340	
7	第 1 回目		1	
	第 2 回目		0	
	第 3 回目		1	
	追加		72	

(注 1) 平成 22 年 4 月から平成 25 年 3 月まで、インフルエンザ菌 b 型による感染症 (髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、咽頭蓋炎、肺炎及び骨髄炎など) の予防を目的として、一部助成を行っていた。平成 25 年 4 月から、定期予防接種となった。

(注 2) 令和 6 年度以降は五種混合 (DPT - IPV - Hib) として接種が開始したが、Hib の単独接種も継続している。

(5)肺炎球菌（小児）

□実績

(単位：人)

区分 年度	接種時期	対象者数	実施者数（計）	接種率（％）
3	第1回目	2,024	1,962	96.9
	第2回目	2,024	1,918	94.8
	第3回目	2,024	1,874	92.6
	追加	2,024	1,739	85.9
4	第1回目	1,914	1,886	98.5
	第2回目	1,914	1,907	99.6
	第3回目	1,914	1,879	98.2
	追加	1,914	1,814	94.8
5	第1回目	1,810	1,788	98.8
	第2回目	1,810	1,790	98.9
	第3回目	1,810	1,796	99.2
	追加	1,810	1,708	94.4
6	第1回目	1,799	1,771	98.4
	第2回目	1,799	1,720	95.6
	第3回目	1,799	1,706	94.8
	追加	1,799	1,615	89.8
7	第1回目	1,826	1,786	97.8
	第2回目	1,826	1,767	96.8
	第3回目	1,826	1,758	96.3
	追加	1,826	1,602	87.7

（注）平成23年4月から肺炎球菌による肺炎及び重症合併症（細菌性髄膜炎など）を予防する目的で一部助成を行っていた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(6) 子宮頸がん予防

□実績

(単位：人)

区分 年度	対象者数	接種件数（延数）				対象者数	キャッチアップ接種件数			
		1回目	2回目	3回目	合計		1回目	2回目	3回目	合計
3		415	382	284	1,081					
4	2,708	431 (15.9%)	407 (15.0%)	336 (12.4%)	1,174	13,164	714	559	289	1,562
5	797	664 (83.3%)	434 (54.5%)	261 (32.7%)	1,359		1,284	1,081	969	3,334
6	818	750 (91.7%)	668 (81.7%)	265 (32.4%)	1,683		3,230	2,832	2,364	8,426
7	844	512	478	189	1,179		1	417	828	1,246

(注1) 平成22年11月から平成25年3月まで、接種推奨年齢にあたる中学1年生（平成22年度に限り中学1・2・3年生）の女子に対して、接種費用を区で負担していた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(注2) 平成25年6月14日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告以降、個別の接種勧奨は行なっていない。

(注3) 令和2年10月9日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告の改正に伴い、子宮頸がんの定期接種に関する情報提供として、高校1年生相当の女子へ周知はがきを送付。

令和3年7月に、中学校3年生及び高校1年生相当の女子へ周知はがきを送付。

(注4) 令和4年4月に子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種再開に伴い、中学1年生から高校1年生相当の女子に予診票を送付。

(注5) 令和4年7月末に子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えをしている間に定期接種の対象者であった平成9年度から平成17年度生まれまでの女性について、キャッチアップ接種の対象者として予診票を送付。（キャッチアップ対象は、令和5年度は平成18年度生まれ、令和6年度は平成19年度生まれまでを指す。）

(注6) 令和5年4月から9価ワクチンが追加。

(注7) 令和6年度より高校1年生相当の女子及びキャッチアップ対象者のうち、未接種者に対して勧奨ハガキを送付。令和7年2月末に中学校3年生の女子のうち未接種者に予診票を送付。

(7) 水痘（みずぼうそう）

□実績

(単位：人)

区分 年度		対象者数	接種時期		接種率（%）
			1歳以上2歳未満	2歳以上3歳未満	
3	1回目	1,842	1,722	5	93.8
	2回目	1,842	1,524	171	92.0
4	1回目	1,872	1,778	9	95.5
	2回目	1,872	1,409	156	83.6
5	1回目	1,793	1,718	16	96.7
	2回目	1,793	1,445	217	92.7
6	1回目	1,715	1,564	17	92.2
	2回目	1,715	1,373	193	91.3
7	1回目	1,722	1,570	14	92.0
	2回目	1,722	1,257	175	83.2

(注1) 平成24年4月から平成26年9月30日まで水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行っていた。対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

(注2) 平成25年度から、新宿区と任意接種の相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

(注3) 平成26年度は9月30日までは任意予防接種。平成26年10月1日から定期予防接種（期間：1歳以上3歳未満、2回接種）となった。

(注4) 平成26年度は経過措置として、1歳以上3歳に至るまでの児は2回接種、3歳以上5歳に至るまでの児は1回接種。

(8) ロタウイルス

平成30年4月からロタウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、任意接種として対象者に対し一部助成を行なっていたが、令和2年10月1日から定期化している。

対象者は、区内に在住し、平成30年4月1日以降に生まれ、1価の場合生後6週から24週0日、5価の場合生後6週から32週0日までの乳児。助成は1価の場合2回、5価の場合3回。

□実績

区分 年度	ワクチン名	対象者	1 回目	2 回目	3 回目	接種率 (%)
3	ロタリックス (1 価)	2,024	729	711		92.8
	ロタテック (5 価)		1,191	1,160	1,122	
4	ロタリックス (1 価)	1,914	797	802		96.8
	ロタテック (5 価)		1,057	1,054	1,050	
5	ロタリックス (1 価)	1,810	711	714		96.9
	ロタテック (5 価)		1,049	1,041	1,032	
6	ロタリックス (1 価)	1,799	739	691		94.3
	ロタテック (5 価)		990	986	968	
7	ロタリックス (1 価)	1,826	746	745		94.6
	ロタテック (5 価)		1,006	984	957	

(9)肺炎球菌（高齢者）

平成 21 年度から肺炎が要因で死亡するリスクの高い 75 歳以上の高齢者のうち、肺炎球菌に感染した時に重症化しやすい、慢性の疾患や特定の疾病を有する高齢者に対して、1 人につき 1 回の肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を行なっている。これは肺炎のり患及び重症化の予防及び肺炎球菌ワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

平成 23 年度から、対象者を区内在住の 75 歳以上全員に拡大するとともに 5 年に 1 回の助成とした。ただし前回の接種日から 5 年を経過していない場合は対象としない。

平成 26 年 10 月 1 日から定期予防接種となり、生涯に 1 回の接種を対象としている。定期接種対象者は①65 歳の者②60 歳以上 65 歳未満のものであって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する者である。

□実績

(単位：人)

区分 年度	対象者数		実施件数			接種率 (%)
			総数	一部助成	全額助成 (注 3)	
3	3 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	8, 826	2, 828	0	2, 828	32. 0
4	4 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	9, 889	2, 581	0	2, 581	26. 1
5	5 年度 65 歳, 70 歳, 75 歳, 80 歳, 85 歳, 90 歳, 95 歳, 100 歳に達した者	9, 589	2, 881	0	2, 881	30. 0
6	満 65 歳の者	2, 677	910	895	15	34. 0
7	満 65 歳の者	2, 696	434	420	14	16. 1

(注1) 平成 26 年度は 9 月 30 日まで任意予防接種、平成 26 年 10 月 1 日から定期予防接種となった。

(注2) 対象者の中には上記②に該当する 60 歳以上 65 歳未満の者を含む。

(注3) 生活保護受給者と、中国残留邦人の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支給給付金を受給している方は全額助成。ただし、令和 3 年度から令和 5 年度は、東京都の補助事業実施につき全対象者に全額助成。

(注4) 令和 5 年度までは経過措置として、その年度に 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳になる者も対象としていた。

(10)B型肝炎

平成27年4月1日からB型肝炎ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種の助成を行なっている。接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住する2か月から1歳に至るまでの乳児で、助成回数は1人につき最大3回。なお、平成27年度に限り、経過措置として2歳に至るまでが対象。

平成28年10月1日から定期接種化された。定期接種の対象者は平成28年4月1日以降に生まれた、生後1歳に至るまでの児。平成28年3月31日以前に生まれた児に対しては、引き続き1歳に至るまで任意接種の助成を行なった。

□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者（延）	接種回数			接種率 (%)
			1回目	2回目	3回目	
定期	3	6,072	1,942	1,906	1,740	92.0
	4	5,742	1,866	1,877	1,768	96.0
	5	5,430	1,774	1,778	1,713	97.0
	6	5,397	1,754	1,706	1,651	94.7
	7	5,478	1,767	1,761	1,615	93.9

(注) 平成28年度の任意接種対象者には、平成28年9月30日までは平成28年4月1日以降に生まれた2か月から1歳に至るまでの児を含む。平成28年10月1日以降は、平成28年3月31日以前に生まれた1歳に至るまでの児のみ。

(11)定期予防接種費用助成事業

平成28年度から、実施依頼書に基づいて23区外の依頼先にて定期予防接種を受け、依頼先自治体の費用助成がなく実費を負担した場合の費用助成を始めた。

□実績

(単位：人)

年度	区分	助成人数（延）	内 訳	
			子ども	高齢者
3		180	141	39
4		159	117	42
5		128	93	35
6		143	87	56
7		136	86	50

(12)風しん[第5期]

平成31年2月1日から令和4年3月31日までの間に限り、風しんに係る公的接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が定期の予防接種の対象者として追加されることとなった。さらに、令和4年3月までの目標達成が困難なため、期限を令和7年3月末までに延長した。対象者には抗体検査と予防接種に利用できるクーポン券を送付。まずは抗体検査を受診。検査の結果、十分な抗体がない者が定期予防接種の対象。抗体検査を終了し十分な抗体がない者については、予防接種を令和9年3月末まで原則無料で受けることができる。

□実績

(単位：人)

区分 年度	発送件数（一斉）	風しん第5期	実施者数	受診率・接種率（%）
3	0	抗体検査	854	2.5
		予防接種	205	0.5
4	0	抗体検査	593	1.8
		予防接種	146	0.4
5	31,642	抗体検査	1,173	3.7
		予防接種	191	0.6
6	0	抗体検査	848	2.8
		予防接種	167	0.5
7	0	抗体検査		
		予防接種	13	0.04

(注1) 令和元年度の発送対象は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれと希望者。

(注2) 令和2年度の発送対象は、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれと希望者。

(注3) 令和4年7月に、風しん抗体検査及び風しん第5期予防接種実施期間延長に関するお知らせを未実施の対象者へ周知はがきとして送付。

(注4) 令和5年7月に対象者へクーポン券を発送。

(13)帯状疱疹

令和5年6月から帯状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部助成を行なっているが、令和7年4月から定期接種化している。対象者は65歳の豊島区民。また令和11年度まで経過措置として、その年度に70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者も対象とする。

助成は1人につき生ワクチンの場合1回、不活化ワクチンの場合2回。接種開始者を接種人数とみなし、各ワクチン1回目の人数を接種人数として接種率を算出。

□実績

区分 年度	ワクチン名	対象者数	1回目	2回目	接種率
7	乾燥弱毒生水痘ワクチン（生ワクチン）	11,716	520		22.5
	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）		2,115	1,978	

(注1) 令和7年度のみ、101歳以上の者も助成の対象としている。

[2] 任意予防接種の助成

(1)麻しん・風しん予防接種の経過措置

平成18年度から麻しん・風しん予防接種は、混合ワクチン第1期・第2期の2回接種となった。これに伴い、定期を過ぎた2歳から第2期対象以前の未接種者と小学校1年生の未接種者に対し、豊島区独自の経過措置（任意接種の全額助成）を設けた。

また、平成 20 年度から、第 3 期（中学 1 年生相当）第 4 期（高校 3 年生相当）の定期予防接種が追加されたことに伴い、平成 21 年度から中学 2 年生の第 3 期末接種者も加え、対象を拡大した。

さらに、平成 23 年 7 月 11 日から、麻しんの感染及び拡大防止を強化するため、定期接種対象者を除く 2 歳から 18 歳未満までの定期予防接種未接種者について 2 回までの助成を行なった。

平成 25 年 3 月末をもって第 3 期・第 4 期が終了したことに伴い、平成 25 年 4 月 1 日からは、対象を 2 歳から 18 歳までに拡大した。

□接種回数

年 齢	所要接種回数
2 歳から就学 1 年前に達する日にいたるまでの間	1 回
小学校 1 学年に相当する年齢から 18 歳までの間	2 回

□実績

(単位：人)

区分 年度	2 歳～ 第 2 期対象以前			小学校 1 年生 ～18 歳まで		
	麻しん・風しん	麻しん	風しん	麻しん・風しん	麻しん	風しん
3	9	0	0	44	0	0
4	6	0	0	35	0	0
5	9	0	0	37	0	0
6	12	0	0	53	0	0
7	6	0	0	28	0	0

(2) 帯状疱疹

令和 5 年 6 月から、帯状疱疹の発症予防と重症化リスクを抑え区民の負担を軽減するため、帯状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部助成を行なっている。対象者は 50 歳以上の豊島区民。

一部助成は 1 人につき生ワクチンの場合 1 回、不活化ワクチンの場合 2 回。

□実績

(単位：人)

区分 年度	ワクチン名	1 回目	2 回目
5	乾燥弱毒生水痘ワクチン（生ワクチン）	428	
	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）	4, 243	3, 457
6	乾燥弱毒生水痘ワクチン（生ワクチン）	206	
	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）	2, 190	2, 414
7	乾燥弱毒生水痘ワクチン（生ワクチン）	293	
	乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（不活化ワクチン）	2, 939	3, 125

(注) 令和 7 年度からの定期接種化に伴い、任意予防接種の助成も令和 7 年度で終了。

(3) おたふくかぜ

平成 24 年 4 月からムンプスウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。おたふくかぜワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧

めることを目的とする。当初の対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

平成28年度から全額助成となり、対象者が1歳から3歳に至るまでに変更された。ただし、平成28年度に限り経過措置として、7歳未満で小学校就学前の3月末日までの者も対象とした。

令和7年度から助成が1人につき2回に変更された。1歳から3歳に至るまでの者は1人1回全額助成、小学校就学前の1年間にある者は1人1回3,000円助成とした。

□実績

(単位：人)

年度	区分	接 種 時 期				接種率 (%)
		対象者数	1歳以上 2歳未満	2歳以上 3歳未満	小学校 就学前	
3		1,842	1,654	56		92.8
4		1,872	1,821	72		101.1
5		1,793	1,693	58		97.7
6		1,715	1,555	45		93.3
7	1回目	1,722	1,474	30		87.3
	2回目	1,686			1,231	73.0

(4) 先天性風しん症候群対策

平成24年からの風しんの流行により、平成25年4月から先天性風しん症候群の発生防止を目的とした風しんの予防接種を全額助成で実施している。平成26年度から風しんの抗体検査を実施するとともに、抗体価の低い方に予防接種を実施している。

対象者は、本区に住民登録があり、妊娠を希望する女性・妊娠を希望する女性のパートナー又は同居者で風しんの抗体価が低い方、風しんの抗体価が低い妊婦のパートナー又は同居者。

□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者	麻しん・ 風しん混合	風しん	合 計
3	男		171	19	190
	女		344	21	365
	合計		515	40	555
4	男		194	10	204
	女		339	21	360
	合計		533	31	564
5	男		224	21	245
	女		372	34	406
	合計		596	55	651
6	男		127	54	181
	女		201	126	327
	合計		328	180	508
7	男		134	53	187
	女		221	87	308
	合計		355	140	495

(注1) 風しん抗体検査実績は、16. 感染症対策 [7] 先天性風しん症候群予防対策事業を参照。

(注2) パートナーまたは同居者については70歳未満の者。

(5) 男性のHPVワクチン任意接種

HPV ワクチンは、男性が接種する場合は任意接種であり、全額自己負担（5～6 万円程度）となる。そこで、豊島区では区民の感染予防促進と経済的負担軽減のため、令和 6 年 6 月 1 日から男性の HPV ワクチン任意接種について接種費用の全額助成を開始している。

□実績 (単位：人)

区分 年度	対象者数	接種件数（延数）			合 計
		1回目	2回目	3回目	
6	1, 846	351	277	183	811
7	1, 198	142	156	163	461

(6) 任意の肺炎球菌（高齢者）

高齢者の肺炎球菌ワクチンは、平成 26 年 10 月 1 日から定期予防接種となり、令和 5 年度まで国の経過措置を実施していたが、令和 6 年 3 月 31 日に終了した。そこで豊島区では、過去に接種したことのない者への接種の機会を設けるため、令和 6 年度に限り、本区に住民登録のある満 66 歳以上で初めて 23 価高齢者肺炎球菌ワクチンを接種する者を対象として、1 回 5, 000 円の助成を行なった。

□実績 (単位：人)

区分 年度	実施件数
6	183

(注) 令和 6 年度限りで終了

(7) 小児のインフルエンザ

令和 6 年 10 月より、生後 6 か月～中学 3 年生で豊島区に住民登録のある区民を対象に、任意接種費用の一部を豊島区が助成する制度を開始した。皮下注射 1 回につき 2, 000 円の助成を行い、13 歳未満の者には 2 回、13 歳以上の者には 1 回の助成回数を設けている。また、令和 7 年より、従来の皮下注射による接種に加えて、2 歳～中学 3 年生を対象として、鼻腔内噴霧（フルミスト点鼻液）1 回 4, 000 円を助成する制度を開始した。

□実績 (単位：人)

区分 年度	対象者数	接種件数（延数）				合 計
		皮下注射			鼻腔内噴霧 （フルミスト 点鼻液）	
		13歳未満 1回目	13歳未満 2回目	13歳 以上		
6	25, 835	10, 604	8, 649	1, 435		20, 688
7	26, 180	9, 024	7, 431	1, 292	2, 603	20, 350